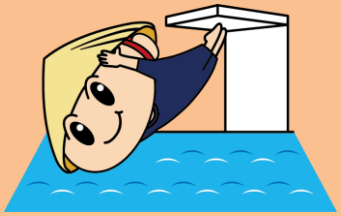
【資料6】

重点施策における
今後の取組(案)について

＜令和8年度＞




基本理念

スポーツと出会い、つながる健幸なまち　くさつ

基本方針	施策　★：重点施策
1　こどもの体力向上と運動・スポーツ活動の推進	(1) 乳幼児・児童の運動（遊び）の推進
	(2) こどもが多様な運動やスポーツに触れる機会の創出 ★
	(3) 学校体育の充実
	(4) 地域と連携した部活動の運営 ★
	(5) スポーツ少年団活動の基盤強化・活性化
2　生涯にわたる運動・スポーツ活動の推進	(1) ライフステージにあわせた健康づくりの推進
	(2) 子育てや働き世代に対する参加促進 ★
	(3) 地域スポーツ活動の充実
	(4) 総合型地域スポーツクラブ活動の活性化
	(5) パラスポーツの推進
3　競技スポーツの推進	(1) スポーツ協会活動の活性化
	(2) スポーツ少年団活動の基盤強化・活性化【再掲】
	(3) 各種大会出場者への支援
	(4) 将来を担うアスリートの育成
	(5) 各種競技大会の推進
4　運動・スポーツ環境の充実	(1) スポーツ指導者・審判員等の育成
	(2) スポーツボランティア活動の推進 ★
	(3) スポーツ推進委員活動の推進
	(4) 運動・スポーツ情報の発信
	(5) 社会体育施設等の整備・充実 ★
	(6) 学校体育施設開放の充実
	(7) 企業・大学等管理施設の有効活用
	(8) スポーツ事故・傷害の予防
	(9) スポーツ団体のガバナンス改革、スポーツ・インテグリティの確保
5　運動やスポーツによるまちの活性化	(1) 企業や各種関係団体と連携した取組や交流の推進
	(2) スポーツツーリズムの推進 ★

★重点施策とは

第3期草津市スポーツ推進計画を推進するにおいて、
特徴的な取組や事業を含み、
特に注力して進める施策

重点施策のうち、
令和8年度に注力して取組を進めている事業を抜粋して説明する

基本方針1　こどもの体力向上と運動・スポーツ活動の推進

■施策

（1）乳幼児・児童の運動（遊び）の推進
（2）こどもが多様な運動やスポーツに触れる機会の創出
（3）学校体育の充実
（4）地域と連携した部活動の運営
（5）スポーツ少年団活動の基盤強化・活性化

■目標

目標項目	基準値 （令和6年度）	中間目標値 （令和11 年度）	最終目標値 （令和15 年度）	【参考】実績 （令和7年度）
新体力テストの成績※1 【小学5年生、中学2年生】	【小5 男子】 53.12 点（全国52.54 点） 【小5 女子】 53.15 点（全国53.93 点） 【中2 男子】 43.31 点（全国41.86 点） 【中2 女子】 46.51 点（全国47.37 点）	男女とも 全国平均点 を上回る	同左	【小5 男子】 53.06点（全国53.02点） 【小5 女子】 53.96 点（全国53.97点） 【中2 男子】 43.98点（全国42.20点） 【中2 女子】 49.18点（全国47.58点）
「卒業した後も、自主的に運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをする時間を持ちたいと思う」と答えた生徒の割合※2 【中学2年生】	【中2】 男子 86.8% 女子 74.8% （令和5 年度※3 男子 83.0% 女子 72.4%）	【中2】 男子 86.0% 女子 75.4%	同左	【中2】 男子 87.7% 女子 76.9%

出典
※1、2 スポーツ庁「全国体力・運動能力・運動習慣等調査」
※3 関連計画の目標項目・目標値を新規に採用していることから、（）内には関連計画における基準値を併記

基本方針1　こどもの体力向上と運動・スポーツ活動の推進

施策（2）　こどもが多様な運動・スポーツに触れる機会の創出

★重点施策

事業名

競技団体や地域のスポーツ関係団体等と連携したこどもの運動・スポーツ機会の充実

事業内容（概要）

競技団体や地域のスポーツ関係団体等と連携し、社会体育施設の無料開放日や放課後の学校体育施設を活用した様々な運動・スポーツの体験会の開催等、こどもの運動・スポーツ機会の充実を図ります。

計画内容

□ 放課後の運動・スポーツの体験会開催

1. 目的

- 運動やスポーツが苦手でも「運動やスポーツを楽しい」と感じるこどもが増えるよう、こどもが主体的に取り組みたくなるきっかけづくりや、多様な運動やスポーツに触れる機会を創出し、安心して取り組める場を提供する
- 地域スポーツを支えるスポーツ団体の育成と、団体への加入者の増加を図る

2. 実施内容（案）

小学生を対象に、放課後、小学校で学校施設を活用して、運動・スポーツの体験機会を定期的に提供する。

運動・スポーツをする“きっかけ”作りを狙いとして、ニュースポーツ等の手軽な運動・スポーツの体験やプロスポーツ選手との交流など特別な体験を市内スポーツ団体や協定締結先と連携して企画する。

【例】 ★年間5回×市内3校　で開催

□ 各種スポーツ体験
（バドミントン・サッカー・フットサル・水泳・野球ソフトボール　など）
□ ニュースポーツ体験
□ からだづくり体験（遊び通じて体の動かし方を学ぶ）
□ プロスポーツ選手との交流　　など

3. 現状

- 現在、2小学校で地域住民等の参画を得て、学習支援や体験活動を行う場を提供している。
- こどもに豊かな体験の場を提供するため、上記の既存事業の回数・実施校数・内容等の見直しを含め、関係課と連携し、スキームの検討を行う。

基本方針1　こどもの体力向上と運動・スポーツ活動の推進

施策(4)　地域と連携した部活動の運営

★重点施策

事業名

運動部活動支援事業

事業内容(概要)

地域と連携した運動部活動の運営体制構築を図るため、スポーツ関係団体や大学等と連携し、指導員や支援員の派遣を行います。

計画内容

□ 草津市にあった新たな部活動の運営手法の検討

1. 国、県の方針

国

休日は、改革実行期間内(R8～R13)に原則、全ての学校部活動において地域展開の実現を目指し、平日においては、地域展開等の全国的な実施を推進していくもの。

県

(前期:R08～R10)地域展開を見据えた指導者の確保・育成
(後期:R11～R13)市町の状況に応じて地域連携・地域展開の体制確立

2. 草津市の現状、今後の取組

現状

中学校生徒数は増加傾向にあるが、R11以降、緩やかに減少に転じることが予想される。
各部活動の参加率については、減少傾向にあるが、一部増加傾向にある部活もある。

取組

- 草津市にあった新たな部活動のあり方の研究を進め、持続可能で適切な部活動運営及び地域連携・地域移行等の推進に向けた検討・調整を行うため、「部活動改革タスクフォース」を庁内で設置し、検討を進めている。
- 部活動指導員の増員(市内6中学校に27名の指導員を配置)
- R10までに全部活動への配置を目指す。

基本方針2　生涯にわたる運動・スポーツ活動の推進

■施策

(1)ライフステージにあわせた健康づくりの推進
(2)子育てや働き世代に対する参加促進
(3)地域スポーツ活動の充実
(4)総合型地域スポーツクラブ活動の活性化
(5)パラスポーツの推進

■目標

目標項目	基準値 （令和6年度）	中間目標値 （令和11 年度）	最終目標値 （令和15 年度）	【参考】 実績 （令和7年度）
20歳以上の人の週1回30分以上のスポーツ実施率 ※1	全体 58.1% 20 歳代 50.0% 30 歳代 50.0% 40 歳代 55.0% 50 歳代 51.3% 60 歳代 56.9% 70 歳代 75.2% 80 歳以上 62.5%	【全体】 69.0%以上 【60 歳代以下】 69.0%以上 【70 歳代以上】 現状維持	【全体】 70.0%以上 【60 歳代以下】 70.0%以上 【70 歳代以上】 同左	全体　56.4% 20歳代　52.5% 30歳代　54.1% 40歳代　46.0% 50歳代　55.8% 60歳代　56.7% 70歳代　67.1% 80歳代以上　60.7%

出典：※1 市民意識調査

基本方針2　生涯にわたる運動・スポーツ活動の推進

施策（2）　子育てや働き世代に対する参加促進

★重点施策

事業名

子育て・働き世代の運動・スポーツ機会の充実

事業内容（概要）

子育て・働き世代における男性・女性それぞれのライフスタイルや興味・関心の傾向を踏まえたニーズの高い運動・スポーツ教室（体操やダンス、トレーニング、体力測定等）の開催や、自宅で気軽にできるエクササイズ・軽運動の普及促進のほか、民間のフィットネスクラブ・トレーニングジムでの体験プログラムの提供を検討するなど、これらの世代の人々が、日常生活の身近な場所で気軽に運動・スポーツに取り組めるプログラムや機会の充実を図ります。

計画内容

★R7アンケート結果より
運動・スポーツ等を実施するための情報が入手できていない
→**40%**

□ 実施事業（案）

✓ **民間のフィットネスクラブでの体験プログラムの実施の促進**
- ・市内の民間フィットネスクラブ等の体験プログラムについて情報を集約し、発信する
- ・広報くさつ、HP、SNS等を活用して発信

✓ **様々なライフスタイルに合わせた教室の開催**
- ・子育て世帯、働き世代が参加しやすいよう朝、夜と様々な時間帯に教室を設定
- ・都合が悪い場合は他の日程に振替が可能な振替制度を作り、より参加しやすい体制を整える

□ 手軽に楽しめるスポーツの発信

＋10（プラステン）…　仕事や家事、子育て等が忙しく運動不足になりがちな子育てや働き世代に対し、通勤時間や休憩時間等の隙間時間を活用して今までより10 分多く体を動かすこと

ニュースポーツ　…　“いつでも”“どこでも”“だれでも”が“いつまでも”楽しめる手軽なスポーツ





【発信方法】
- ＋10（プラステン）やニュースポーツについてHPやインスタグラムで発信するほか、誰もが手軽に楽しめるスポーツの情報について、インスタグラムで定期的に発信を行う。
- ニュースポーツの出前講座を行うことにより、実際に体験「＝する」をしていただくことでスポーツの楽しさを広める。

基本方針3　競技スポーツの推進

■施策

(1)スポーツ協会活動の活性化
(2)スポーツ少年団活動の基盤強化･活性化【再掲】
(3)各種大会出場者への支援
(4)将来を担うアスリートの育成
(5)各種競技大会の推進

■目標

目標項目	基準値 （令和6年度）	中間目標値 （令和11 年度）	最終目標値 （令和15 年度）	【参考】 実績 （令和7年度）
滋賀県民スポーツ大会における草津市の総合順位※1	県2位	県2位	同左	県4位
全国大会等の出場件数※2	121 件	145 件	165 件	202件

出典:※1 滋賀県民スポーツ大会成績 ※2 草津市スポーツ選手各種大会出場激励金の交付件数

基本方針4　運動・スポーツ環境の充実

■施策

(1)スポーツ指導者・審判員等の育成
(2)スポーツボランティア活動の推進
(3)スポーツ推進委員活動の推進
(4)運動・スポーツ情報の発信
(5)社会体育施設等の整備・充実
(6)学校体育施設開放の充実
(7)企業・大学等管理施設の有効活用
(8)スポーツ事故・傷害の予防
(9)スポーツ団体のガバナンス改革、スポーツ・インテグリティの確保

■目標

目標項目	基準値 （令和6年度）	中間目標値 （令和11 年度）	最終目標値 （令和15 年度）	【参考】 実績 （令和7年度）
社会体育施設等の利用者満足度※1	3.63 ポイント	4.07 ポイント	同左	3.78ポイント 〔参考〕 草津市立プール 3.85ポイント
社会体育施設等の利用者数※2	815,866 人	880,000 人	同左	914, 007人

出典
:※1 社会体育施設、弾正公園テニスコート、草津グリーンスタジアム、くさつシティアリーナにて実施の利用者アンケート
※2 社会体育施設、弾正公園テニスコート、草津グリーンスタジアム、くさつシティアリーナ、草津市立プールの利用状況記録

基本方針4　運動・スポーツ環境の充実

施策（2）　スポーツボランティア活動の推進

★重点施策

事業名

スポーツボランティアの参加促進と活動の場の充実

事業内容（概要）

スポーツ関係団体と連携し、市民のスポーツボランティア参加者の拡大を図るとともに、各種スポーツイベント等におけるスポーツボランティアの積極的な受け入れを推進します。

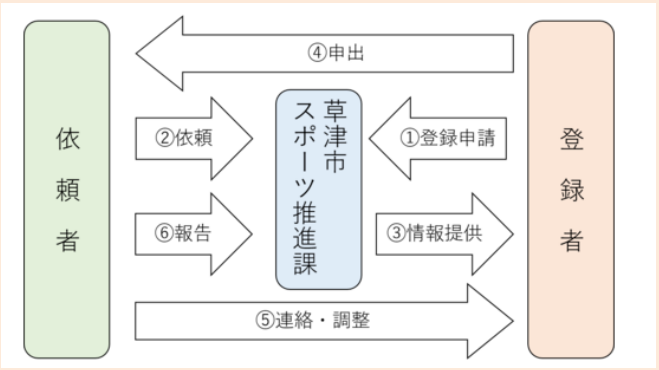
計画内容

□「草津市スポーツボランティア」登録制度の立ち上げ

スポーツボランティアの人材発掘および、活動の場の充実を推進することで、多様な運動やスポーツの関わり方の一つである「支える」スポーツへの参加を促すとともに、各種スポーツイベントやスポーツ関連団体の活性化や持続可能な活動につなげることを目的として**「草津市スポーツボランティア登録制度」**を立ち上げました。

【登録者】※情報提供を行います
① 草津市内に在住、在学または在勤している個人
② 前号に掲げるもので構成されるグループ
③ 草津市内に活動の拠点を有する団体
④ 前3号に掲げるもののほか草津市が必要と認めた個人、グループまたは団体登録申込時点で18歳未満の方は、保護者の同意が必要

【派遣団体】
草津市または草津市教育委員会が、主催、共催、後援するスポーツイベント等の主催者



□ 制度の活用について

すでに「草津市スポーツボランティア」登録されている方については、大規模大会だけでなく、市の主催・共催・後援のスポーツイベント等でも活躍いただくことで、活動の機会を定期的に創出する。
また、HPやSNSを活用した周知で、登録者のさらなる拡大を目指すとともに、各種スポーツイベントにおいても積極的なスポーツボランティアの受け入れを働きかける。

【受け入れ実績・予定】 令和8年度全国高等学校総合体育大会　延べ104人　　ワールドマスターズゲームズ関西　延べ270人想定　※募集中

基本方針4　こどもの体力向上と運動・スポーツ活動の推進

施策(5)　社会体育施設等の整備・充実

★重点施策

主な取組

事業名	事業内容	令和8年度取組内容
(仮称)新志津運動公園整備事業	自然が残された整備予定地の特性を生かし、スポーツ施設の充実を図るとともに、コミュニティの中で楽しみ・喜び・充実感をもたらしウェルビーイング(Well-Being)を高める場とし、大規模災害にも対応可能な防災機能を備えた施設整備を目指します。	自然環境影響調査 用地測量
社会体育施設等整備改修事業	誰もが快適に社会体育施設等を利用できるよう、施設の適切な維持管理に必要な改修等を行います。	計画的な修繕や適切な日常の維持管理・運営を行う。 ・弾正公園テニスコート改修工事 ・武道館床面改修工事 ・総合体育館空調設備設置工事
利便性の向上に向けたデジタル技術の活用	オンライン施設予約システム等を活用し、利用者の利便性や施設の利用率の向上を図ります。	令和8年度から公共予約システムの供用を開始し、6月から予約受付を開始している。
手軽に運動・スポーツに取り組める環境づくり	社会体育施設の利用者が手ぶらで来ても運動やスポーツを楽しめるよう、スポーツ用品の販売やレンタルを行います。	各施設においてスポーツ用品の販売やレンタルを行う。 ・総合体育館 ・滋賀トヨタアリーナ ・インフロニアアクアティクスセンター
児童公園等再整備事業	児童公園・児童遊園の老朽化対策として、地元町内会の意見等、利用者ニーズの把握に努めながら、再整備(リニューアル)・改修を行い、身近に外遊びや運動・スポーツができる環境を整えます。	公園再整備　3か所
地域まちづくりセンター貸館事業	地域まちづくりセンターにおいて各諸室の貸館を行い、健康体操やダンス等の運動やスポーツができる場所を提供します。	地域まちづくりセンターの貸館を通じて、市民が身近に運動・スポーツができる場所や機会の充実につなげる。

基本方針5　運動やスポーツによるまちの活性化

■施策

（1）企業や各種関係団体と連携した取組や交流の推進
（2）スポーツツーリズムの推進

■目標

目標項目	基準値 （令和6年度）	中間目標値 （令和11 年度）	最終目標値 （令和15 年度）	【参考】 実績 （令和7年度）
社会体育施設等におけるスポーツ大会・ イベント（500 人以上）の開催件数 ※1	36 件	50 件	同左	54件

出典：※1 社会体育施設、弾正公園テニスコート、草津グリーンスタジアム、くさつシティアリーナ、草津市立プール、草津川跡地公園の利用状況記録

基本方針5　運動やスポーツによるまちの活性化

施策(2)　スポーツツーリズムの推進

★重点施策

事業名

地域資源を活用したスポーツツーリズムの推進

事業内容(概要)

本市の多様な地域資源の掘り起こしを行い、文化や歴史、景観などの観光資源を活用したハイキングや自転車のツアーを実施することで、健康増進と観光客の誘客を図ります。

計画内容

□ スポーツ施設の特徴、立地をいかした大会・イベントの誘致



□ 大規模集客事業・にぎわい創出事業　(年間約50事業)

✓ <u>わたSHIGA輝く国スポ・障スポ2025　@市内スポーツ施設</u>
滋賀県では、昭和56年以来2度目の開催。市内スポーツ施設を使って7競技(正式競技)を実施しました。【R7　延べ74,331名来場】

✓ <u>SVリーグ　@草津市立滋賀トヨタアリーナ</u>
日本の女子トップバレーボールリーグ
東レアローズと草津市はパートナーシップ協定を締結し、草津市立滋賀トヨタアリーナでホームゲームを開催。
【R7　10日程開催　延べ21,239人来場(1試合最高来場数:2,887人)】

✓ <u>イナズマフードGP(5/23、5/24)　@草津市立滋賀トヨタアリーナ</u>
日本全国のご当地グルメ60店舗が出店。
来場者投票により上位28位以内に入賞した飲食店が「イナズマロック フェス 2024」への出店権利を獲得できるグルメイベント。【R7　延べ8,750人来場】

✓ <u>B.CLUB ACADEMY CHEER FESTIVAL　@草津市立滋賀トヨタアリーナ</u>
B.LEAGUEのチアスクール生が一堂に会するチアダンスの祭典。総勢1400名を超える生徒が参加。【R7　2日間開催　延べ6,273人来場】

✓ <u>ダイビングショー　@インフロニア草津アクアティクスセンター</u>
滋賀・立命館ダイビングクラブと豪州代表の合同ダイビングショーを開催。
世界トップレベルの選手たちが飛込みを披露。 ※R8実施

✓ <u>ワールドマスターズゲームズ2027関西
@草津市立野村運動公園グラウンド、グリーンスタジアム</u>

基本方針5　運動やスポーツによるまちの活性化

施策(2)　スポーツツーリズムの推進

★重点施策

事業名

ワールドマスターズゲームズ2027関西/JAPAN の開催

事業内容(概要)

令和9年度開催のワールドマスターズ2027関西(本市ではソフトボール競技を開催)を通じて、本市の地域資源を国内外に発信するとともに、多世代・多地域・多文化の国際交流が生まれる契機となるよう取り組みます。

計画内容

ロ ワールドマスターズゲームとは

1985年から4年ごとに開催される概ね30歳以上のスポーツ愛好者であれば誰もが参加できる
世界最大級の生涯スポーツの国際総合競技大会

① **スポーツ愛好者のための競技大会**　・・・選ばれたアスリートのための競技大会ではない。

② **スポーツと観光を楽しむ大会**　・・・周辺の観光地巡り等を楽しむ参加者も多く、市の魅力を国内外にPRするチャンス

1. 大会概要

【概要】　概ね30歳以上であれば、誰でも参加可能な世界最大級の生涯スポーツの祭典。日本初開催。
【期間】　2027年5月14日～30日　(17日間)
【競技数】　35競技59種目(うち滋賀県・・・6競技6種目/草津市・・・1競技1種目)

2. 草津市での開催概要

【期間】　2027年5月22日～28日まで(うち競技日数6日間)
【競技・会場】　ソフトボール競技　男子　@野村運動公園グラウンド、草津グリーンスタジアム
【参加予定数】　32チーム　※エントリー状況は別紙参照



ワールドマスターズゲームズ2027関西
大会マスコット
スフラ
~Sport for Life~

計画内容

□ WMGにおける市内観光施設と連携した観光客の誘客に関する取組

1. 大会PR

- 歓迎看板、横断幕、のぼり旗、会場案内板等
- 案内所設置（会場、駅案内所）
- おもてなしコーナーの設置
- キッチンカー（売店）の設置

※設置イメージ

タペストリー・柱広告



横断幕



2. 草津市の観光周遊の取組

関係機関等と連携して、国内外からの参加者に対して草津市の観光を楽しんでいただけるよう、本市ならではの観光プラン等の検討を進め、誘客促進や市内での周遊促進を図る。

◆観光プランの作成

「歴史・文化」「食・土産」「体験」の3本柱をテーマとし、草津市でしか体験できない特別感を感じていただけるようプランを作成します。

周知・発信方法

- ワールドマスターズゲームズ関西組織委員会の公式HPへ掲載
- 大会参加者への連絡お知らせ機能（メール）での発信
- 市HPや広報くさつへの掲載
- グルメマップ等の作成（観光物産協会）



◆交流の取組

大会を通して参加者同士の交流や、大会参加者と地域交流の促進を図ります。

【選手間交流】

競技団体の主導のもと、競技会の試合開始前に選手紹介を行うほか、参加者が主体となりプレゼントの交換を行い、交流を図ります。

【大会参加者と地域交流】

市内で大会参加者を対象としたイベントを開催し、地元団体等によるパフォーマンス等を実施します。

